

小2国語 出題のねらいと対策

1 かん字の読みとり 83.3%

ねらい：漢字の読み方についての知識を問う。

分析と対策：(3)「空」は、「くう」の音読みのほかに「あ(く)・から」などの複数の訓読みがあることに注意させてください。

2 かん字の書きとり 85.0%

ねらい：漢字の書き方についての知識を問う。

分析と対策：(2)「耳」の縦画(2画目)は横画から突き出さない、横画(5画目)は突き出すことに注意させてください。

3 なかまのことば 95.6%

ねらい：なかまのことばについて問う。

分析と対策：なかまのことばにふくまれる個々のことばを選ぶ問題です。例えば(1)の虫を表すことばには、正解のほかにはどんなものがあるのかや、(2)～(4)のなかまについても、それぞれ考えさせてください。

4 反対のいみのことば 91.7%

ねらい：反対の意味のことばについて問う。

分析と対策：反対の意味のことばについては、日常の会話の中でも、機会をとらえて「このことばと反対になることばは何か」と考えさせて、語彙を増やすようにさせるとよいでしょう。例えば「高い」には「低い・安い」など、複数の反対の意味のことばがあります。

5 いみのおる文 60.0%

ねらい：正しく意味のおる文を作ることができるかどうかを問う。

分析と対策：(3)は、「のどが」と「水をのみます」のあいだを、どんなことばでつなげばいいか考えさせてください。

6 かん字の筆じゅん 80.8%

ねらい：漢字の正しい筆順についての知識を問う。

分析と対策：筆順は上から下へ、左から右へ書く大原則を確認してください。例外はありますが、その原則を知っておくことで書き順を覚えやすくなります。

7 物語を読む 64.2%

ねらい：物語の場面設定や登場人物の心情、また、文章の細部の内容を読み取る力を問う。

分析と対策：本文では、森の動物たちが、冬ごもりにそなえて、秋の山のごちそうをせっせと食べる場面がえがかれています。ネズミたちはフクロウやヘビに見つからないように用心しながら、ドングリや草のたねを食べています。このような緊張感とあわただしさが入りまじる秋の森を想像しながら文章を味わわせてください。(1)「せっせ せっせ」は、熱心に物事をおこなうときに用いることばです。冬がきて「なにもかも、ふかい雪の下にうもれてしま」う前に、ネズミたちが、いそいでたくさんえさを食べようとする様子を読み取らせます。

全体の平均点は78.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。